

2018年11月 造幣局、鉄道博物館見学ご案内

三熊会ハイキング同好会

実施担当 美術工芸科

2018年11月の「造幣局、鉄道博物館見学」のご案内をします。

1. 日時 平成30年11月2日(金)
2. 行先 ①造幣局さいたま博物館と工場
(大宮・さいたま新都心駅から徒歩12分)
②大宮鉄道博物館
(大宮→(約3分)ニューシャトル鉄道博物館(大成)駅から徒歩1分)
又は大宮駅西口から徒歩約23分
3. 集合場所/時刻 JRさいたま新都心駅東口/9時20分
4. 費用 鉄道博物館 **入場料 1,300円** (20人以上の場合1,040円/人)
5. 行程と概略時刻

JRさいたま新都心駅(9:30出発) → **造幣局さいたま博物館(9:55集合)**

ガイド案内による博物館、工場見学(10時~約1.5時間)・・・8/31予約済み

(11:45出発)→JRさいたま新都心駅(12:08出発)→JR大宮駅(12:10)

★大宮駅でそれぞれ昼食→→

JR大宮駅 → ニューシャトル鉄道博物館(大成)駅(約3分) → 博物館まで徒歩1分

又は大宮駅西口 → 博物館まで徒歩約23分

鉄道博物館見学 **14:00 博物館1階集合** 14:10~16:15 自由見学

16:15 集合・解散

【参考】行きの電車 : 深谷(8:11)ー籠原(8:19)ー熊谷(8:25)

ー大宮(9:05)ーさいたま新都心(9:08) 上野東京ライン

6. その他

- ・昼食は各自、大宮駅構内又は近郊で
- ・異常な悪天候等の場合、中止します。(別途連絡します)
- ・参加ご希望の方は、各科幹事(下記)までお申込み下さい。(締め切り10月15日)

【メモ】

◇造幣局さいたま博物館

毎日の生活に無くてはならない「お金」。紙幣や硬貨はどのように作られているのか。

日本の貨幣(コイン)を製造している「造幣局」は大阪にある本局の他、広島や埼玉にも支局があり、それぞれの工場で、毎日たくさんの硬貨が作られている様子を見学できます。

造幣局さいたま支局は、2016年10月に東京東池袋からさいたま市に移転し、以前よりも工場が広くなり、博物館も併設しているので、硬貨作りから歴史まで学べるスポットとして注目されています。

◇大宮鉄道博物館

2006年5月に閉館した東京・神田の交通博物館が、新たに「鉄道博物館」として、さいたま市にオープンし、「鉄道」「歴史」「教育」をコンセプトに、日本における鉄道の役割、鉄道技術の変遷、社会への影響などが学べます。

日本と世界の鉄道に関わる遺産や資料を体系的に保存し、調査研究を行っているほか、車両などの実物を展示する博物館です。「ミニ運転列車」「鉄道ジオラマ」「D51シミュレータ」などを通して、鉄道の原理や仕組みを遊びながら学ぶことができます。2018年7月5日には、館内南側に新館がオープン。新館には、鉄道の「仕事」「歴史」「未来」をテーマとした「仕事ステーション」「歴史ステーション」「未来ステーション」や、セルフサービス形式の「ビューレストラン」、展望スペース「トレンテラス」などがあります。

幹事：福祉・環境科 横山 伸雄 sok_yokoyama@y3.dion.ne.jp 080-1034-8486

ふるさと伝承科 小原 誠一 sei1@jasmine.ocn.ne.jp 070-6405-7008

美術工芸科 西方路 明 fusaikun@yahoo.co.jp 090-2200-9804